

平成 27 年 2 月 17 日
三洋製紙株式会社

バイオマスボイラーの建設に関するお知らせ

当社は鳥取市の本社工場にバイオマスボイラーの建設を決定しましたので、お知らせいたします。

*設置の目的

当社は従来より 100%古紙リサイクルによって段ボール中芯原紙および農用再生紙(カミマルチ)の製造・販売をしております。

エネルギーの安定確保が重要課題となるなか、化石燃料への依存から脱却することで、エネルギー調達に関する諸リスクを排除し、製造原価低減を図ることを目的としてバイオマスボイラーの建設を決定いたしました。コージェネレーションシステムの導入により高いエネルギー効率を実現し、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)を利用した売電事業も行う計画としています。

製紙事業における資源の有効利用に加え、再生可能エネルギーの供給を通じて、環境負荷低減・循環型社会への貢献をより確かなものとしていながら、地球環境との調和をめざした事業活動を推進してまいります。

*設備の概要

- 1) 設置場所：三洋製紙本社工場内(鳥取市)
- 2) 設備能力：ボイラー蒸発量 70 t/h
発電能力 16,700kW
- 3) 投資額：約 70 億円
- 4) 使用燃料：木質チップ、PKS(ヤシ殻)、石炭
- 5) 稼働予定：2016 年 12 月

以 上